

基本目標 1 田原本町に住み続けることができる働く場を創る															
数値目標・実績															
項目	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	目標値 (R3)	R3	進捗 S・A・B・C・D	R3までの総括評価 (成果、課題)	今後の取組方針	主担当 部局	担当課	
町内事業所従業員数	11,916人	—	11,167人	11,167人 (H28)	11,167人 (H28)	11,167人 (H28)	11,167人 (H28)	11,682人	12,356人	A: やや計画以上に進んだ	数値は経済センサスR3年調査結果による。 (仮称)田原本IC周辺において、約20社が立地(建築中のものなど操業前のものを含む)され、雇用の場が生まれている。	県や金融機関等と連携し、引き続き企業誘致を進め、雇用の創出に取り組んでいく。	産業建設部	地域産業推進課	
誘致企業数	7件 (延べ件数)	8件 (延べ件数)	8件 (延べ件数)	11件 (延べ件数)	11件 (延べ件数)	11件 (延べ件数)	11件 (延べ件数)	15件 (延べ件数)	14件 (延べ件数)	C: やや計画より遅れた	平成29年度の条例改正により、奨励金対象要件が厳しくなったことにより目標未達となった。奨励金の届出は少ないが、工業ゾーンの創出等の取り組みの結果、IC周辺等において企業の立地は進んでいる。	都市計画、農政係と連携し、引き続き企業誘致に取り組んでいく。	産業建設部	地域産業推進課	
商工会加盟事業者数	578人	568人	549人	550人	535人	536人	547人	508人	558人	A: やや計画以上に進んだ	コロナ禍における地域との関わり方が見直されたことや、新規起業者の支援の取り組みにより加盟者数が回復傾向にある。	商工会を通じて事業者のニーズに合った適切な支援を継続的に実施していく。	産業建設部	地域産業推進課	
施策	K P I														
	指標名	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	目標値 (R3)	R3	進捗 S・A・B・C・D	R3までの総括評価 (成果、課題)	今後の取組方針	主担当 部局	担当課
(1) 事業者にとって魅力的なまちにする	①雇用創出の視点からの企業誘致、中小企業支援件数	41件	44件	45件	43件	52件	32件	7件	50件	21件	D: 計画より遅れた	新型コロナウイルスの影響によりセーフティネットの利用が進んだことから、近年の新規利用は減少した。	令和2年度より新規創業者も利用可能としており、スタートアップ支援に取り組んでいく。	産業建設部	地域産業推進課
	②都市の生活利便性向上の視点からの商業活性化														
	③都市魅力向上の視点からの駅前活性化														
(2) 資源を最大限に活かした産業を育む	①農業の担い手の育成・支援	4人	6人	7人	7人	8人	8人	8人	10人	10人	B: 計画通り	令和3年度は2名の新規就農者を確保できたが、新規就農者の希望条件にあった農地を探すことが課題となっている。	地域の担い手の育成のため、引き続き、新規就農者の確保に向けて取り組む。	産業建設部	地域産業推進課
	集落営農組織数	1組織	1組織	1組織	1組織	1組織	1組織	1組織	2組織	2組織	B: 計画通り	地域内の農業者の意見を取りまとめるリーダーが不足しており、集落営農組織の設立が少ない。	農業の効率化を図るためには、集落営農化することは有効であるので、引き続き、集落営農化を進めていく。	産業建設部	地域産業推進課
	②農産物の高付加価値化	3件	5件	5件	6件	7件	9件	11件	10件	11件	B: 計画通り	農業経営を拡大したい時に設備投資等を行いやすくなるなど、意欲のある農業者の経営基盤の強化に役立っている。	農業経営を行っていく上で、設備投資等を行いやすくなるよう、引き続き、制度資金の活用に向けた取り組みを行う。	産業建設部	地域産業推進課
	推進する作物の耕作面積	0.5ha	0.5ha	0.7ha	0.7ha	0.7ha	0.9ha	0.9ha	1.5ha	0.8ha	C: やや計画より遅れた	「味間いも」は連作障害が起こることから、新たな生産地の確保が難しく、生産量の確保が課題である。	引き続き、味間いもの生産拡大に向けて取り組む。	産業建設部	地域産業推進課
(3) まちのブランド化につながる産業を育む	①大和野菜等、ブランドの高い野菜の生産の促進	1件	1件	1件	1件	1件	1件	1件	2件	1件	C: やや計画より遅れた	新たに大和野菜に認定されるためには、農産物の歴史的な背景などの要件を満たすなどの課題がある。	引き続き、大和の伝統野菜として認定を受けている「味間いも」の販売促進や加工品の検討等のPR活動を行うなどブランド力の強化に取り組むとともに、新たな伝統野菜の抽出に努める。	産業建設部	地域産業推進課
	②農畜産物・特産品の周知														
	ふるさと応援寄附金返礼品登録数	—	—	—	—	107品	208品	247品	300品	296品	C: やや計画より遅れた	事業者への戸別訪問や奨励金の運用など地道な取り組みにより、着実に登録数を増やしてきたが、令和元年度に返礼品の要件である“地場産品”の基準が厳しくなり、対象が絞られたことにより、目標未達となった。	引き続き、登録促進に取り組むほか、平均寄附単価の増に向け、高額返礼品の登録を図る。	産業建設部	地域産業推進課
③唐古・鍵遺跡等の歴史資源を活用したブランドづくり			11件	54件	57件	68件	72件	66件 (延べ件数)	74件 (延べ件数)	A: やや計画以上に進んでいる	令和3年度は、行政機関等の使用が2件であった。	町公式キャラクターと「楼閣くん」との棲み分けや、唐古・鍵遺跡ロゴマークの周知を行い、利用を促す。	教育委員会	文化財保存課	

まち・ひと・しごと創生総合戦略の進捗状況

基本目標2 田原本町への新しいひとの流れをつくる															
数値目標・実績															
項目	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	目標値 (R3)	R3	進捗 S・A・B・C・D	R3までの総括評価 (成果、課題)	今後の取組方針	主担当 部局	担当課	
社会増減数（転入者数－転出者数）	△183人	△53人	△97人	△58人	△6人	43人	91人	△41人	97人	A：やや計画以上に進んだ	平成29年度より50人程度の増加が続き、令和元年度はプラスに転じ、それ以降プラスを維持できている。	引き続き人口増に結び付くような施策に取り組む。	町長公室	企画財政課	
観光入込客数	19,116人	18,133人	18,140人	9,056人	407,386人	380,421人	285,544人	422,000人	362,355	C：やや計画より遅れた	道の駅などがオープンし、観光入込客数は大きく増加したが、新型コロナウイルスの感染拡大による移動自粛や集客イベントが中止されるなど不安定な状態が続いており、目標未達となった。	令和2年に設立された一般社団法人田原本まちづくり観光振興機構と連携し、観光商品や特産品の開発などを進め、観光客増につながるコンテンツの整備を進める。	産業建設部	地域産業推進課	
K P I															
施策	指標名	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	目標値 (R3)	R3	進捗 S・A・B・C・D	R3までの総括評価 (成果、課題)	今後の取組方針	主担当 部局	担当課
(1) 若い世代が定住しやすい住環境を整備する	①定住支援補助制度の促進	—	—	—	—	—	3世帯	13世帯	20世帯	20世帯	B：計画通り	補助制度があることにより、町外からの移住先として検討して頂いている。	定住支援制度を引き続き継続的に取り組んで行く。	産業建設部	まちづくり建設課
	②空き家となった住宅の利活用の促進	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	家賃補助制度については、実際に定住に繋がっているか調査を行う必要がある。	—	—	—
	③大阪都心のベッドタウンという強みを生かした定住促進	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
(2) 豊かな歴史資源を活用する	①唐古・鍵遺跡史跡公園、ミュージアムの充実	—	—	—	—	54,422人	116,134人	69,342人	45,000人	98,621人	S：計画以上に進んだ	新型コロナウイルス感染拡大の影響を若干受けながらも、イベントの開催や学校の校外学習等で利用され、最終的に10万人弱の来園者があった。	令和5年度からの第2期指定管理者選定を行い、史跡公園と道の駅を一体として活用できる方法を検討する。	教育委員会	文化財保存課
	②田原本町の歴史・文化的な観光資源の魅力を知らせてもらイベントの実施	9,116人	8,133人	8,140人	4,056人	14,035人	13,278人	5,741人	12,000人	5,803人	D：計画より遅れた	臨時休館等はなかったものの、年間来館者は5,803人にとどまった。	コロナ禍でのミュージアム運営方法を検討するとともに、ワークショップ・企画展等を充実させることで、来館者増を図る。	教育委員会	文化財保存課
	③観光客の交通便利性の向上	2件	4件	4件	5件	5件	5件	1件	5件	3件	C：やや計画より遅れた	周辺自治体と組織する協議会等でイベント等を実施してきたが、近年は新型コロナウイルスの影響で集客イベントが見送られているため未達となった。(代替策としてPR動画の作成やSNSを活用したPRを実施。)	新型コロナウイルスの状況を注視しながら、状況にあった取り組みを進めていく。	産業建設部	地域産業推進課
(3) 田原本町の魅力を発信する	①唐古・鍵遺跡史跡公園と連携する道の駅の運営	—	—	—	—	262,000人	237,731	206,762人	400,000人	254,872人	C：やや計画より遅れた	道の駅来場者が史跡公園に立ち寄ることにより滞在時間の長い(回転率の低い)ことや、新型コロナウイルスの影響による旅行者の減(団体旅行を含む)により、目標未達となったと考える。	アフターコロナに向け、旅行会社が実施するバスツアーの誘致に取り組む。令和4年度末に指定管理者の契約期限を迎えるため、適切な事業者を選定し、来場者及び売上増に取り組む。	産業建設部	地域産業推進課
	②道の駅を活用した田原本町の魅力の発信	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	いちごパフェなどの来場の目的となる目玉メニューの開発やSNSによる情報発信等により集客に努めており、令和3年度は前年に比べて大きく増加した。	—	—	—
	③町や地域の取り組みの発信	14件	18件	60件	103件	131件	144件	136件	142件	123件	C：やや計画より遅れた	令和3年度の実績は前年度より約10%減となった。これは前年度から引き続き新型コロナウイルス感染症による悪影響が全国的に及び、感染防止のための各種制限、イベントの中止など活動規模縮小の傾向が続いたことで、情報発信機会が減少したことによるものであると考える。しかし、報道機関、行政の取り組みへの関心は今まで以上に高まっており、積極的な情報提供を行っていった結果、前年度実績より減であるが、その減少幅を抑えることができた。	第2期についても引き続き、町や地域の取り組みの発信を行っていく。新型コロナウイルス感染症による各種制限が今後も続けば、より情報発信機会は減少してしまうと考えられるため、今までの取材で培ってきた人のつながり、道の駅レスティ唐古・鍵や史跡公園、まちづくり観光振興機構との連携による情報の共有・補完はもちろん、町行政の積極的な事業展開も、情報を逃さず発信していきたい。	町長公室	秘書広報課

まち・ひと・しごと創生総合戦略の進捗状況

基本目標3 若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる																
数値目標・実績																
項目	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	目標値 (R3)	R3	進捗 S・A・B・C・D	R3までの総括評価 (成果、課題)	今後の取組方針	主担当 部局	担当課		
合計特殊出生率	1.47	1.27	1.45	1.48	1.51	1.44	1.42	1.63	1.42 (R2)	C: やや計画より遅れた	新型コロナウイルス感染症等の影響もあり、全国的に合計特殊出生率が減っており、本町においても減少傾向にある。	田原本町に定住し、安心して子どもを産み育てられるよう子育て支援策の展開を模索する。	健康福祉部	こども未来課		
施策	K P I															
	指標名	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	目標値 (R3)	R3	進捗 S・A・B・C・D	R3までの総括評価 (成果、課題)	今後の取組方針	主担当 部局	担当課	
(1) 就労・結婚・出産を希望する若者を応援する	①町居住・町出身の若者の就職支援	雇用促進奨励金の交付対象となった従業員数(累計)	1人	1人	1人	1人	5人	6人	12人(延べ人数)	6人(延べ人数)	C: やや計画より遅れた	平成29年度の条例改正により、奨励金対象要件が厳しくなったことにより目標未達となった。奨励金の届出は少ないが、企業立地は進んでおり、雇用の場は生まれている。なお、令和3年度に奨励金の届出が3件あり、今後実績が増える見込み。	引き続き企業誘致を進め、雇用の創出に取り組んでいく。	産業建設部	地域産業推進課	
	②若者世代の活発な交流の促進	新規就農者数(延べ人数)(再掲)	4人	6人	7人	7人	8人	8人	10人	10人	B: 計画通り	令和3年度は2名の新規就農者を確保できたが、新規就農者の希望条件にあった農地を探すことが課題となっている。	地域の担い手の育成のため、引き続き、新規就農者の確保に向けて取り組む。	産業建設部	地域産業推進課	
	③不妊に悩む夫婦への支援	一般不妊治療助成の実施件数	—	—	—	18件	31件	28件	37件	35件	36件	B: 計画通り	一般不妊治療助成の周知がされたこともあり、申請も徐々に増え、目標値にも達することができた。令和4年4月1日より保険適用となったことから、助成事業は終了した。	令和4年度から不妊治療が保険適用となったため、不妊治療助成事業は廃止とした。今後、状況を見て支援の内容等を検討していく。	健康福祉部	こども未来課
(2) 子育て環境の充実をはかる	①子育ての経済的な負担の軽減	多子世帯の保育所利用者数	86人	—	79人	76人	86人	74人	96人	76人	98人	B: 計画通り	令和元年10月より第2子無償を町独自で実施しており、保育ニーズも増え、目標値を上回っているが、待機児童も発生している。	待機児童対策に取り組むことを優先課題として、仕事と子育ての両立支援を継続していく。	健康福祉部	こども未来課
	②保育サービスの充実	地域子育て支援センター利用者数	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	③きめ細やかな子育てサポートの実施	地域子育て支援センター利用者数	9,376人	8,484人	6,710人	6,215人	9,217人	8,830人	4,807人	11,100人	6,102人	C: やや計画より遅れた	新型コロナウイルス感染症対策のため、1日の利用組を減らし予約制の運用に切り替えた。利用率はほぼまっぴらだが、当初の目標値には達していない。今後の運用も同様とする予定であり、SNSを活用するなど、新しい生活様式に合わせた運用を検討している。	各種講座や個別相談の実施等、利用制限がある中で、子育て世代のニーズに合った支援の方法を検討するなど、きめ細かく利便性・対応性の高い支援拠点を目標とする。	健康福祉部	こども未来課
(3) 田原本町らしい教育環境を創る	①子どもたちの豊かな人間性の育成	町立幼稚園就園率	48.40%	49.03%	48.64%	48.71%	46.12%	47.87%	46.41%	53.00%	46.91%	C: やや計画より遅れた	保護者の就労形態の変化に伴う、「預かり保育」の充実及び「認定こども園」化	平野幼稚園に続き、田原本幼稚園を令和3年度より認定こども園として開園。今後も「預かり保育」の充実を図る。	教育委員会	教育総務課
	②地域・歴史の学びを通じた、子どもたちの地域への愛着の醸成	おはなし会への参加者数	922人	887人	710人	795人	817人	737人	443人	1,000人	677人	C: やや計画より遅れた	コロナ感染症の波が来るたびに、参加者だけでなく、ボランティアの安全のために中止をせざるを得ないところがあり、なかなか目標を達成することが難しい。	おはなし会1回あたりの平均参加人数は1名程度しか下がっていない。このままサービスが途切れないようにコロナの感染拡大を防ぎながら、開催を行っている。	教育委員会	図書館
	③経済的理由により就学が困難な児童・生徒・保護者の支援	地域・歴史の学び学習実施学年	1学年	1学年	1学年	1学年	2学年	2学年	6学年	5学年	6学年	A: やや計画以上に進んだ	6年生では、地域・歴史の学び学習を実施しており、総合的な学習の時間に弥生体験学習を取り入れている。また、3・4年生では、地域の学習として、史跡公園での自然観察等を学習に取り入れている。	目標を達成したので、新たな目標を立てる。	教育委員会	教育総務課

まち・ひと・しごと創生総合戦略の進捗状況

基本目標4 時代に合った地域をつくり、安心な暮らしを守るとともに、地域と地域を連携する																
数値目標・実績																
項目	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	目標値 (R3)	R3	進捗 S・A・B・C・D	R3までの総括評価 (成果、課題)	今後の取組方針	主担当 部局	担当課		
自治会加入率	93%	93%	92%	92%	92%	91%	91.4%	95%	90.7%	C: やや計画より遅れた	自治連合会の研修や各種補助金の交付等、自治会活動の魅力向上に努めたが、加入率は減少となった。	引き続き、自治会組織・運営を強化し、活動を活性化させ、加入率の増加に向け新規転入者や未加入者への加入を促す。	総務部	総務課		
65歳以上の要支援・要介護認定を受けていない人の割合	84%	84%	84%	84%	84%	84%	84%	88%	84.47%	C: やや計画より遅れた	新型コロナウイルス感染症の影響があり、通いの場の拡充が進まなかったことにより割合が増えなかった。	引き続き高齢者の健康寿命の延伸、また、介護状態にならないよう介護予防事業やヘルスケアプロジェクトを拡充していく。	健康福祉部	長寿介護課		
施策	K P I															
	指標名	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	目標値 (R3)	R3	進捗 S・A・B・C・D	R3までの総括評価 (成果、課題)	今後の取組方針	主担当 部局	担当課	
(1) 地域コミュニティの強化をはかる	①地域課題の解決を図る自治会の育成・支援	田原本青垣生涯学習センター・弥生の里ホールの利用件数	4,374件	4,705件	4,644件	4,669件	4,690件	4,230件	2,934件	5,000件	4,063件	C: やや計画より遅れた	新型コロナウイルスの影響で施設利用が減少した。	コロナ対策を継続しながら貸館を行い、利用件数をコロナ前までの水準に回復させる。	教育委員会	生涯教育課
	②文化やスポーツ等を通じた地域活動の支援	町内の体育施設の利用件数	4,583件	4,472件	4,879件	4,757件	4,560件	5,243件	4,405件	5,000件	3,296件	C: やや計画より遅れた	新型コロナウイルスの影響で施設利用が減少した。	コロナ対策を継続しながら貸館を行い、利用件数をコロナ前までの水準に回復させる。	教育委員会	生涯教育課
(2) 誰もが安心して暮らせるまちをつくる	①日常的な健康づくりや急病への対応など住民の健康支援	介護予防サポーター・認知症サポーターの養成人数	32人	768人	416人	609人	406人	239人	185人	1,040人	345人	D: 計画より遅れた	「健康ポイント事業」参加者が、「認知症講演会」や「認知症サポーター養成講座」に参加した場合には、ボーナスポイントが付与されることもあり、一定の参加者を確保し、前年度より多くの参加者となったが、新型コロナウイルス感染拡大の影響により講演会及び講座の開催回数の減少や参加を見送った方も多くあり目標値は達成できなかった。	認知症サポーター養成講座や認知症講演会の開催、周知啓発により、受けてもらえるよう推進していく。	健康福祉部	長寿介護課
	②高齢者が生き生きとした生活を送るための支援	シルバー人材センター登録者数	307人	280人	277人	272人	267人	278人	245人	390人	250人	C: やや計画より遅れた	シルバーの登録者数を確保するために周知啓発に働きかけ、会員数増ではあるが増えている。	引き続き退会者数の抑制を図り、会員数増加を目指す。	健康福祉部	長寿介護課
	③防犯・防災体制の強化によるまちの安全の確保	自主防災組織登録数	60団体	69団体	73団体	74団体	76団体	76団体	78団体	97団体	79団体	C: やや計画より遅れた	町内の自治会のうち約8割程度で自主防災組織を立ち上げて設立することができた。今後は設立していない自治会に対して設置の支援等を行い、地域の防災意識の向上に努めていく。	昔から水害が多い地域では防災意識も高いため、設立済みであり、活発に活動している自治会が多い。それ以外の自治会への啓発活動を行っていく。水害だけでなく、地震等の大規模災害の備えの重要性や、共助による減災例等を発信する。	総務部	防災課
		LED防犯灯への交換率	33%	56%	78%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	B: 計画通り	自治会所有防犯灯は蛍光灯からLEDへの交換が終了している。	自治会所有防犯灯は蛍光灯からLEDへの交換が終了している。	総務部
		タワラモトンタクシー利用実人数	—	—	—	—	2,338人	2,869人	2,390人	3,000人	2,575人	C: やや計画より遅れた	令和2年度は新型コロナウイルス感染症の影響による外出控えのため減少し、令和3年度は少し改善したと考えられる。申請するが利用しない方もいる一方で、利用券の必要数に不足している方もあり、より使いやすい制度にする必要がある。	真に必要な方が利用できるような制度の内容を見直ししながら継続して実施する。	町長公室	企画財政課